

# 祝

## 兵庫津が日本遺産に認定されました。

5月24日、文化庁より兵庫津が「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～」として、歴史的魅力や特色を有する地域「日本遺産」であると認定されました。



日本遺産の認定に向けて  
官民を挙げた取り組み

昨年11月、地元のまちづくり協議会や自治自などの15団体が、地域活性化を目的に「兵庫津日本遺産を目指す会」を結成しました。

会長には「西出東出まちづくり協議会」の高瀬章氏が専任されたほか、実行委員長として「よみがえる兵庫津連絡協議会」の高田誠司氏、書記は「東出町自治会」の平石一夫氏、

そして会計は「西出東出まちづくり協議会」の藤井崇氏が選ばれました。

また、行政から兵庫県教育委員会文化財課をはじめ、兵庫県産業労働部観光交流課、兵庫県神戸県民センター、公益社団法人ひょうごツーリズム協会、神戸市教育委員会文化財課、神戸市観光局観光部などのご協力をいただきました。その後、会合を重ねて、官民を挙げた取り組みの結果、このたび、日本遺産の認定を得ることができたのです。



## 日本遺産の認定を起点に 地域のさらなる活性化へ

今回の認定では、兵庫津にある高田屋嘉兵衛が航海の安全を願って献上した「高田屋嘉兵衛献上灯籠」や「高田屋嘉兵衛本店跡地」が対象となりました。さらに、播州の特産である太い木綿糸を用いて、厚く巨大な平織りの丈夫な帆布の開発に成功した「苦楽松右衛門（工楽松右衛門）の墓」、そして北前船の和船模型など認められました。



これらは、いずれも歴史的な北前船寄港地・船主集落としての特徴を備えています。また、北前船については、動く総合商社として各地に繁栄をもたらし、江戸後期から明治初期にかけての「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間」であることが高く評価されました。



ちなみに、「日本遺産 (Japan Heritage)」とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーとして文化庁が認定するものです。魅力あふれる有形や無形のさまざまな文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

今回、結成された「兵庫津日本遺産を目指す会」を中心として、今後、地域が一丸となって活性化に取り組むことが期待されています。会では認定された兵庫津の魅力ある有形・無形の文化財群の知名度をさらに高めて、地域活性化を応援してまいります。

この件に関するお問合せは、  
協和商事株式会社 代表取締役 高田誠司氏（電話：078-681-6388）まで。  
（自民党 兵庫県議会議員 福島茂利 福島茂利事務所：兵庫区東山町2丁目-6-6 ジラソーレ 601号 電話：078-512-2940）